



小川中だより "燦々"

自主
感性
敬愛

No. 1 平成30年4月13日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

1学期始業式・入学式より、ちょうど1週間となりました。今週は朝晩の空気が冷たい日もありましたが、生徒は元気よく登校し、学年始めの様々な活動に積極的に取り組んでいました。

さて、話しは変わりますが、今年度も学校だよりを発行して参ります。題名を色々考えましたが、「燦々」といたしました。その理由としては2つあります。1つは、小川中学校の教育目標にもなっている「燦たる未来」から。もう一つは、「燦々」の言葉が表す意味からです。

「燦々」には、「美しく光り輝くさま」「鮮やかに輝くさま」という意味があります。よく使われる表現に、「太陽の光が燦々とふりそそぐ」などがあります。小川中学校の生徒たちが、この一年、美しくそして鮮やかに光り輝いてほしいとの願い(期待)を込めています。また、そうなれるように私たち教職員がバックアップしていくとの決意も込めています。

私たち教職員、そして保護者の皆様も経験してきたとおり、中学校時代は3年間という短い期間ではありますが、心身共に大きく成長する(変化する)時期でもあります。中学校を卒業する頃には、もう立派な大人の仲間入りです。この大切な3年間を充実したものとするために、学校と家庭が「生徒たちの成長のため」という同じ目的に立って、連携・協力して参りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いたします。

◇平成30年度転入職員◇

校長	津田 直人	福島県教育センターより転入
教諭	木村公美子	いわき市立赤井中学校より転入 2学年主任(音楽)
教諭	遠藤 友理	新採用 1年1組担任(数学)
講師	樋口 智之	いわき市立小名浜第二中学校より転入 3学年副担任(英語)
講師	須田夏奈子	いわき市立植田中学校より転入 2学年副担任(美術)

※勿来二中と兼務のため、月・水・木に小川中で勤務

〈校長自己紹介〉



生年月日	昭和43年5月24日(双子座)
出身地	いわき市好間町
居住地	いわき市好間町
家族	妻、子、母の4人暮らし
趣味	映画鑑賞、ドライブ、スポーツ
座右の銘	「己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」(論語)

～ご挨拶～

この度の人事異動により、福島県教育センターから新任校長として、小川中学校に着任いたしました津田直人と申します。いわき生まれのいわき育ちです。

田村郡小野町の小野中学校を新採用教員としてスタートし、今年で教員生活28年目を迎えます。専門教科は社会科で、学生時代(中学校～大学)は野球部に所属し活動していました(小学校時代はスポーツ少年団でソフトボール)。高校2年生の時に、先輩たちが夏の県大会で優勝し、全国大会(甲子園球場)に連れて行ってもらいました。10日ほど同行した中での一番の思い出は、甲子園球場で一緒に練習を行えたことです。ベンチから球場に入った瞬間、スタンドの大きさに驚きました。言われているとおり、まさに「すり鉢」のようでした。

小川町には親戚がいたり、食べているお米も小川のお米だったり、様々な縁を感じています。これからどうぞ、よろしくお願いたします。